



Philosophy & Beliefs

三菱UFJ国際投信主催

ベイリー・ギフォード 個人投資家向けフォーラム 2022

開催レポート

開催日時：2022年11月11日(金) 19:30~21:00

三菱UFJ国際投信の下記投資信託へのご理解を深めていただくため、
下記投資信託が活用する運用戦略の提供元であるベイリー・ギフォード社をご紹介します。

- ・ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド〈愛称：ロイヤル・マイル〉
- ・ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド〈愛称：ポジティブ・チェンジ〉
- ・ベイリー・ギフォード世界成長企業戦略／SMT、LN外国投資証券ファンド
〈愛称：クロスオーバー・グロース〉（ファンドは、特化型運用を行います。）

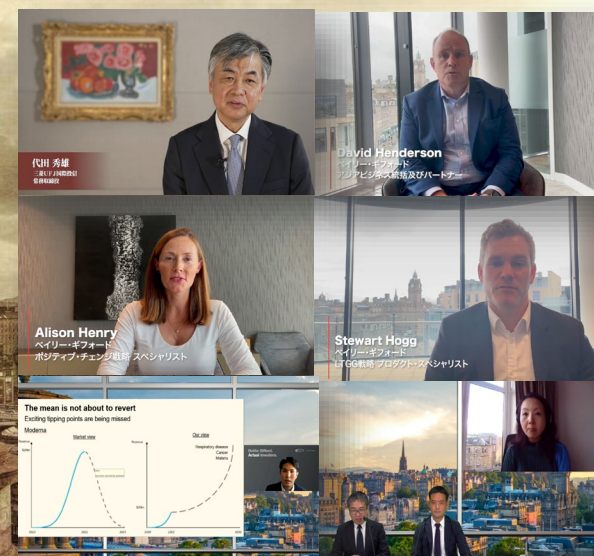
各ファンドは投資対象ファンドを通じベイリー・ギフォード社の運用戦略を活用しています。



Actual Investors

Baillie Gifford are long-term investors, not speculators

揺るぎない信念、長期投資



日本の個人投資家のみなさまと弊社およびベイリー・ギフォード社（以下、BG社という場合があります）を直接つなぎ、BG社の投資哲学・長期投資の神髄等をみなさまへお伝えする場として、2022年11月11日（金）に本フォーラムを開催する運びとなりました。本レポートを通じ、当日の様子を少しでも多くの投資家のみなさまにご共有させていただき、BG社の投資哲学・長期投資の神髄等にご共感いただければ幸いです。



- ・本レポートでは当日の内容について、短く書き換えている場合や全てを表示していない場合がありますのでご了承ください。
- ・BG社がご紹介する本フォーラムの内容は、あくまで各ファンドが投資する投資対象ファンド（「外国投資法人」ということがあります。）で活用する運用戦略のものであり、三菱UFJ国際投信が運用する各ファンドとは異なります。
- ・本フォーラムでは、BG社の投資哲学・長期投資等についてより深くご理解いただくため、個別銘柄を紹介しておりますが、弊社およびBG社が推奨を目的とするものではありません。各ファンドおよび投資対象ファンドにおいて当該銘柄を組み入れることを保証するものではありません。
- ・本フォーラム内でご紹介の内容は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。市況の変動等により、ご紹介の運用方針通りの運用が行えない場合があります。また、今後運用方針が変更される場合があります。
- ・フォーラムの内容は一部個人の意見も含まれており、将来の投資成果を保証等するものではありません。投資に関する決定はお客さまご自身のご判断と責任のもとに行っていただきますようお願いいたします。

「ロイヤル・マイル」、「ポジティブ・チェンジ」が投資する外国投資法人の運用は、ベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドが行います。ベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドは、運用の権限をベイリー・ギフォード・オーバーシーズ・リミテッドに委託します。ベイリー・ギフォード・オーバーシーズ・リミテッドは、英国の独立系運用会社であるベイリー・ギフォード&カンパニーの100%子会社であり、英国外のお客様に対して資産運用・助言サービスを提供するための会社です。ベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドはベイリー・ギフォード・オーバーシーズ・リミテッドの子会社です。「クロスオーバー・グロース」が投資する外国投資法人の運用は、ベイリー・ギフォード&カンパニーが行います。本資料ではベイリー・ギフォード&カンパニー及びその子会社等をベイリー・ギフォード社という場合があります。

当日のプログラム

① 開催の挨拶および日本の投資家のみなさまへのメッセージ

ベイリー・ギフォード社 パートナー（共同経営者）より
日本の投資家のみなさまへ、メッセージをご紹介します。



David Henderson氏
ベイリー・ギフォード社
アジアビジネス統括及びパートナー

② ベイリー・ギフォード社 長期成長株投資の神髄

成長株への長期投資に強みを有する、ベイリー・ギフォード社。
スコットランドで100年以上に亘り長期投資を実践してきた
ベイリー・ギフォード社の投資哲学・長期投資の神髄をご紹介します。



松原衣里氏

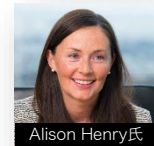


岩澤一史氏

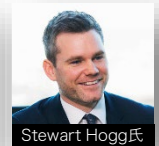
ベイリー・ギフォード社
クライアント・サービスチーム（日本顧客担当）

③ ベイリー・ギフォード社 スペシャリストからのエピソード

ベイリー・ギフォード社のスペシャリストが考えている投資への想いや
運用をはじめた経緯等、普段なかなか聞くことのできないエピソードを
ご紹介します。



Alison Henry氏



Stewart Hogg氏

ベイリー・ギフォード社
ポジティブ・チェンジ戦略、LTGG戦略*
プロダクト・スペシャリスト

④ 投資家のみなさまからのQ&Aセッション

みなさまから頂いたご質問にベイリー・ギフォード社および弊社担当者が
お答えさせていただきました。

* ポジティブ・チェンジ戦略：ポジティブ・チェンジで活用する運用戦略

LTGG戦略（ロング・ターム・グローバル・グロース戦略）：ロイヤル・マイルで活用する運用戦略



・運用担当者等は将来変更になる可能性があります。

Section1

開催の挨拶および 日本の投資家のみなさまへのメッセージ



代田 秀雄
三菱UFJ国際投信
常務取締役

三菱UFJ国際投信 常務取締役 代田



David Henderson
ベイリー・ギフォード
アジアビジネス統括及びパートナー

ベイリー・ギフォード社
アジアビジネス統括及びパートナー
David Henderson氏

開催の挨拶および日本の投資家のみなさまへのメッセージ



三菱UFJ国際投信 常務取締役 代田

- みなさん、こんばんは。三菱UFJ国際投信の代田です。本日は『Philosophy & Beliefs ベイリー・ギフォード 個人投資家向けフォーラム 2022』にご参加いただき誠にありがとうございます。本日は、エディンバラのBG社とも繋ぎ、みなさまにBG社が考える長期投資について触れていただければと思ひまして、このような機会を設けることになりました。
- 2022年8月に出されました『エディンバラからの便り ([こちら](#))』には、「今後10年、あるいはそれ以降に世界がどのように変化するか深く考え、そしてその恩恵を受けるであろうと考えられる企業に辛抱強く投資する」というコメントがありました。まさにこういったことがBG社が考える長期投資なのではないかと思ひます。そういったBG社の「Philosophy & Beliefs」、この「哲学」と「信念」、こういったものを本日みなさま方と共有し、または共感いただければたいへんありがたく思ひます。どうぞ本日はこのフォーラムをお楽しみください。

※過去の実績・状況であり、将来の運用成果を保証等するものではありません。

【本資料に関してご留意いただきたい事項】の内容を必ずご覧ください。

開催の挨拶および日本の投資家のみなさまへのメッセージ



ベイリー・ギフォード社
アジアビジネス統括及びパートナー
David Henderson氏

- みなさま、こんばんは。BG社のヘンダーソンと申します。本日のフォーラムにご参加くださりありがとうございます。BG社は日本のお客さまのために資産を運用してきた長い歴史があります。本フォーラムでは、私たちの投資哲学や投資プロセスについてお話します。また私たちのスペシャリストのうち、ロング・ターム・グローバル・グロース戦略（ロイヤル・マイルで活用する運用戦略）担当とポジティブ・チェンジ戦略（ポジティブ・チェンジで活用する運用戦略）担当の2名がお話します。最後に、Q&Aの時間も設けています。先ほど申し上げました通り、私たちは三菱UFJグループとの関係を通じて、日本のお客さまの資産を運用してきた長い歴史があります。本フォーラムがみなさまの（当社の長期投資の哲学・信念等に対する）ご理解を深める機会となれば幸いです。

※過去の実績・状況であり、将来の運用成果を保証等するものではありません。

【本資料に関してご留意いただきたい事項】の内容を必ずご覧ください。

Section2

ベイリー・ギフォード社 長期成長株投資の神髄



ベイリー・ギフォード社
クライアント・サービスチーム（日本顧客担当）
松原氏



ベイリー・ギフォード社
クライアント・サービスチーム（日本顧客担当）
岩澤氏

ベイリー・ギフォード社 長期成長株投資の神髄

ベイリー・ギフォード社の文化や運用哲学を教えてください。



ベイリー・ギフォード社
クライアント・サービスチーム（日本顧客担当）
松原氏

- BG社は、長期的思考を資産運用でも自社の経営でも実践しています。株式上場はせず、現役社員が共同経営を行っています。社外の株主がないため、四半期毎の業績でなく長期の事業維持・拡大に焦点を当てた経営が可能です。お客さまとも長期的な関係づくりを目指しており、2022年9月末現在6割を超えるお客様と5年以上のお付き合いがあり、最も古いお客様とは一世紀以上運用委託を受けています。BG社の投資哲学も、5年10年、あるいはそれ以上の長期投資を見据えています。ベンチマークを参考にせず、個別銘柄への確信度合いに基づいて資金を配分するアクティブ投資を行います。

創業者のベイリー氏（左）、ギフォード氏（右）



※上記は当日のスライドイメージです。



※上記は当日のスライドイメージです。

※過去の実績・状況であり、将来の運用成果を保証等するものではありません。

銘柄発掘とボトムアップ調査はどのように行うのでしょうか。



ベイリー・ギフォード社
クライアント・サービスチーム（日本顧客担当）
松原氏

- 調査は常に個別銘柄に焦点を当てます。BG社の運用担当者は、型にはまった情報について非常に懐疑的で、外部アナリスト等による見通しは殆ど信頼していません。市場が気づかない視点や展望を得るために、運用担当者は各自が面白いと熱中できる分野を調査します。
- 最も重要な洞察力をもたらす情報源のひとつとして、年間延べ2,000社以上の企業とのミーティングやアニュアルレポートなど企業発の一次情報を重視しています。さらに、長期滞在を含む現地出張や投資ではなく産業界のコンファレンスなどを通じて、精力的に通常とは異なる観点を模索します。研究者との対話も情報源のひとつです。



※上記は当日のスライドイメージです。

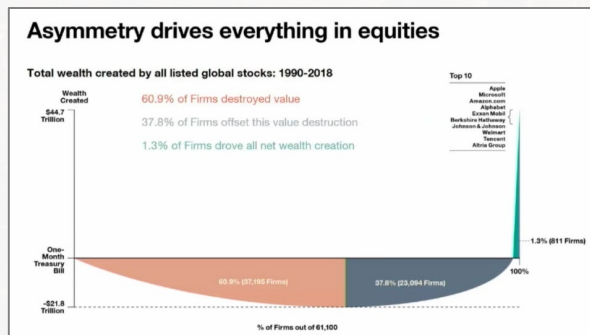
※過去の実績・状況であり、将来の運用成果を保証等するものではありません。

【本資料に関してご留意いただきたい事項】の内容を必ずご覧ください。

学術機関との関係はどう投資に役立つのでしょうか。



ベイリー・ギフォード社
クライアント・サービスチーム（日本顧客担当）
松原氏



※上記は当日のスライドイメージです。

- 研究者や調査機関との対話は、直接、新たな投資アイデアに繋がることは少ないですが、経済や社会の大きな方向性に対する深い理解につながります。科学や医療における新しい発見について知見を広げたり、保有銘柄の関連領域における技術革新のペースや進捗についての理解を深めるというような、背景調査と俯瞰的な観点を養うことができる点に価値を見出しています。学術機関とのコミュニケーションは新規銘柄に出会った時のひらめきのもとになるものです。
- 例えば、マサチューセッツ工科大学の教授とエネルギーシステムの将来を議論して、電気自動車業界の方向性を推察しEV事業の成長に対する確信度を高めたり、デジタルゲームの研究を行っているシドニー大学の博士とゲーム中毒や、ゲームのマネタイズについて議論しました。この議論は、後にゲーム会社の経営陣との会議でこれらの問題を検討する際に役立ちました。また、アリゾナ州立大学の教授にグローバル株式における富の形成について調査を委託しました。その調査結果によると、1990年から2018年の期間で世界中の企業が創出した株式価値の全てを上位1.3%の企業によって説明できることを理解しました。また、実に約6割の企業の株式のリターンはアメリカの短期国債のリターンを下回っていたことも分かりました。長い間の投資経験から肌身で感じていたことですが、株価が長期的には平均回帰しないことが学術的に証明され、アクティブ投資、長期銘柄保有への自信が高まりました。

出所：Hendrik Bessembinder他著『Do Global Stocks Outperform US Treasury Bills?』（2019）

・株式価値とは、当該期間において、その銘柄に投資したことによる収益を表しています（当該期間中の配当再投資を含む株式リターン＝米国の1ヵ月物の財務省証券のリターン）

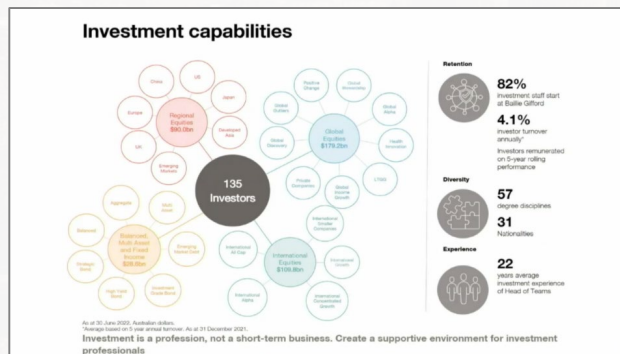
※過去の実績・状況であり、将来の運用成果を保証等するものではありません。

ベイリー・ギフォード社 長期成長株投資の神髄

運用部の体制について教えてください。



ベイリー・ギフォード社
クライアント・サービスチーム（日本顧客担当）
松原氏



※上記は当日のスライドイメージです。

- 2022年9月末時点で合計177名のインベストメントマネージャーとアナリストが在籍し、地域株、グローバル株、マルチアセットと債券合わせて22の運用チームに分かれて活動しています。チーム分けはあっても、成長株への投資、長期アクティブ運用という同じ方向を見て活動していて運用部全体の風通しが良く、企業面談や調査内容等は運用部全体で共有されています。
- スターファンドマネージャーを作らない方針で、投資経験が長い者も短い者も銘柄の議論は対等の立場で行います。運用担当者はイギリス人ばかりではなく世界中の様々な国の出身者を採用しています。学歴も経済関係ばかりではなく、大学での修業学科は56種類を数えます。「企業分析は教えることができるが、知的好奇心を持つことは教えることが難しい」と考えるため、運用担当者を採用する際に重要視するのは知的好奇心です。運用部に採用されますと、5年間ほどをかけて研修を重ねながら、様々な戦略をローテーションしていきます。いろいろなバックグラウンドを持つ運用担当者はそれぞれ興味関心の方向性や社会の見方が異なります。それが投資アイディアの多様性やインスピレーションにつながり、銘柄の議論にも役立っていると考えます。

※過去の実績・状況であり、将来の運用成果を保証等するものではありません。

【本資料に関してご留意いただきたい事項】の内容を必ずご覧ください。

ベイリー・ギフォード社 長期成長株投資の神髄

足元、世界的なインフレ高進や主要国の相次ぐ利上げにより、グロース株式の調整と今後の景気後退局面入りが懸念事項として挙げられますが、ベイリー・ギフォード社ではどのような考えをお持ちでしょうか。



ベイリー・ギフォード社
クライアント・サービスチーム（日本顧客担当）
岩澤氏



※上記は当日のスライドイメージです。

- グロース株への投資を成功させるには、非常に長い期間の投資の視野と、特に市場全体が近視眼的になった時にも投資を維持する辛抱強さの両方が必要だと考えます。重要なことは、グロース株マネジャーのファンドに投資する投資家のみなさまも、我々と同様に長期での投資目線をもって頂きたいことだと我々は考えています。
- インフレが高まる局面において、株式はアセットクラスとしての魅力が増すと考えています。なぜなら、過去15年ほどの間、金融緩和により、成長力が乏しい会社にも資金が集まっていました。つまり、金融緩和のおかげで、ごく普通の企業が、安価に資金調達でき、実像よりも特別な存在に見せることができたのだと考えます。しかし、新しい高金利環境下では、このような時代は終わりを告げようとしています。今後は、適応力のある企業と平均的な企業を選別することで、株式の投資家にとって魅力的な投資環境になるとも考えています。

※過去の実績・状況であり、将来の運用成果を保証等するものではありません。

【本資料に関してご留意いただきたい事項】の内容を必ずご覧ください。

株価は長期的にファンダメンタルズに従うというお話がありましたが、ベイリー・ギフォード社が投資している企業のファンダメンタルズは健全でしょうか。



ベイリー・ギフォード社
クライアント・サービスチーム（日本顧客担当）
岩澤氏

- 足元、不安定な相場であるものの、保有銘柄の点検は適宜行っており、ファンダメンタルズは引き続き堅調だと考えます。例えば、2022年9月末時点で、ポジティブ・チェンジ戦略の代表ファンドのポートフォリオの大半の保有銘柄の業績は黒字です。赤字企業は10%強に過ぎません。加えて、赤字企業は多くの場合、成長投資のために収益性を抑えていると見ています。バランスシートの強さとキャッシュフロー特性の両方を分析したところ、より厳しいマクロ経済環境に耐えられるだけの十分な堅牢性を持っていると考えています。ポートフォリオに含まれる企業は、顧客評価の高いサービスを販売し、今ある課題に対する解決策を提供しています。このため、価格決定力は大きく、インフレ環境への対応力があると考えます。厳しいマクロ環境でも持続的な成長をしていくために借金をしなくても自社の利益から成長投資をしていける体力がある銘柄が多いと考えます。

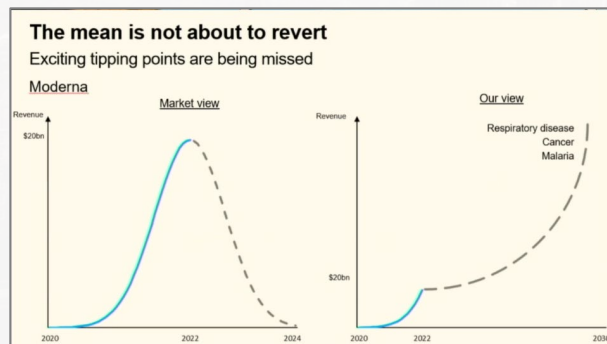
※過去の実績・状況であり、将来の運用成果を保証等するものではありません。

【本資料に関してご留意いただきたい事項】の内容を必ずご覧ください。

ベイリー・ギフォード社の見方を象徴するような銘柄はありますか？



ベイリー・ギフォード社
クライアント・サービスチーム（日本顧客担当）
岩澤氏



※上記は当日のスライドイメージです。

- モデルナを一例にあげます。BG社として、モデルナに初めて投資したのは2018年のIPOの時でした。同社は、新型コロナウイルスの感染拡大で大きく注目されるようになりました。市場では、新型コロナウイルス感染拡大による影響は一過性のもので、それが収まれば、大手製薬会社は以前の落ち着きを取り戻すという見方もありますが、私たちの考えは、まったく違います。同社が新型コロナウイルスに取り組むために活用した機械学習ベースのプラットフォームは、発射台に過ぎず、同社は他の様々な症状に軸足を移しています。呼吸器疾患、癌、マラリアなどです。
- 同社のCEOのビジョンは、患者が病院に行って採血し、1週間後に、患者自身の独自のゲノム構成に合わせて開発された個人用ワクチンを受け取るというものです。2022年3月、同社は、吸入可能なスプレーで肺にmRNAを伝達することに成功したと発表しました。感染症が自然に発生する部位に投与することで、通常の腕への注射による全身反応ではなく、ある部位で免疫システムの「特殊部隊」を訓練することになるのです。その結果、どうなるのでしょうか？10年後には吸入式がんワクチンが開発されるかもしれません。これは画期的なことです。大手製薬会社の既存のビジネスモデルを破壊する可能性があると考えます。

※過去の実績・状況であり、将来の運用成果を保証等するものではありません。

Section3

ベイリー・ギフォード社 スペシャリストからのエピソード



ベイリー・ギフォード社
ポジティブ・チェンジ戦略 プロダクト・スペシャリスト
Alison Henry氏



ベイリー・ギフォード社
LTGG戦略 プロダクト・スペシャリスト
Stewart Hogg氏

【スペシャリストとは？】

・運用担当者が運用に専念できるように、スペシャリストが代わりに、各運用戦略に関する情報や投資哲学・プロセス、直近のパフォーマンス等を説明する役割を担う。



ベイリー・ギフォード社
ポジティブ・チェンジ戦略 プロダクト・スペシャリスト
Alison Henry氏

ポジティブ・チェンジ戦略の概要を教えてください。

- ESGは当社にとって常に重要で、長期投資家としてガバナンスの重要性を長い間考えてきました。ESGをどのように戦略に組み込んでいくかという点では、Environment（環境）とSocial（社会）は間違いなく新しい概念です。ポジティブ・チェンジ戦略は、まさにその延長線上にあります。ポジティブ・チェンジ戦略は、当社のインパクト投資戦略であり、企業の製品やサービス等に注目しています。
- ポジティブ・チェンジ戦略では、ポジティブな変化をもたらすために、投資リターンと社会的なインパクト（社会的課題の解決）という2つの運用目標を掲げています。つまり、全ての保有銘柄はこの2つの運用目標を満たさなければなりません。私たちは、このような企業を見つけるために、排除的なアプローチをとっているわけではありません。最も優れた企業を見つけるために、前向きで積極的なアプローチをとっています。

※過去の実績・状況であり、将来の運用成果を保証等するものではありません。



ポジティブ・チェンジ戦略が生まれた背景を教えてください。

ベイリー・ギフォード社
ポジティブ・チェンジ戦略 プロダクト・スペシャリスト
Alison Henry氏

- もともとは、（運用担当者の一人である）リー・チャンのアイデアからポジティブ・チェンジ戦略は生まれました。リーは、1990年代初頭に中国で育ちました。そして、経済成長が社会にもたらす恩恵を、自分の周りの人を通じて実際に目の当たりにしてきました。幼少期の経験は大きな影響を与えました。そして、それから20年以上経ってBG社で働いていた時、彼は社会の問題や世界の大きな課題は投資によって解決できると感じたのです。
- そこで彼は、2つの運用目標を持った戦略のアイデアを考えました。投資先として優れている企業を探すと同時に、不平等などの問題に取り組むことができる企業を探すことです。このアイデアをBG社のパートナー陣に提案したところ、賛同を得られ、2016年に運用チームが結成されました。そして、2017年初めにパートナーシップからシード資金（立ち上げ資金）が投入され、運用開始に至りました。

※過去の実績・状況であり、将来の運用成果を保証等するものではありません。



ベイリー・ギフォード社
ポジティブ・チェンジ戦略 プロダクト・スペシャリスト
Alison Henry氏

投資アイデアをどのように生み出しているのですか。
また、投資アイデアをどのように洗練させていますか。

- ポジティブ・チェンジ戦略の運用チームは、自分の好奇心と熱意に従って行動することを強く奨励されています。 私たちは、セクター担当（企業をセクターで区切って調査や分析等すること）は設けません。なぜなら、投資可能なユニバース企業の多くは、成長及びインパクトの観点からも、興味深いものではない場合が多いからです。その代わり、運用チームは自分たちの興味のある投資アイデアを追い求めており、意思決定者の中でも関心が異なります。
- 教育分野での銘柄発掘を例にとってみましょう。運用担当者の一人であるタイハは2021年末にデュオリングという会社を調査しました。デュオリング社は、無料で語学を学べるアプリを提供しており、タイハは言語学習の観点から非常に興味深い企業だと考えました。私たちが発見したのは、世界の多くの地域で、英語などの言語があれば教育の機会だけでなく、より良い仕事や長期的な展望という点でも、より良い結果をもたらすことができるということです。ですから、人々が英語であれ日本語であれ、無料で学ぶことができるようになったことは非常に大きな変革だと考えます。そして、（ファンダメンタルズ分析を経た）2番目のステップであるインパクト分析では、その企業が人々に与えている影響を考察します。その企業が人々の生活に与える影響を調べ、優れたESGを持ち、経営陣が長期的な視点で経営していることを確認します。このようにファンダメンタルズ及びインパクトの両面から厳密な調査を行った上で、2021年末デュオリング社に投資しました。

※過去の実績・状況であり、将来の運用成果を保証等するものではありません。



ベイリー・ギフォード社
LTGG戦略 プロダクト・スペシャリスト
Stewart Hogg氏

ロングターム・グローバル・グロース戦略 (以下、LTGG戦略) の概要を教えてください。

- LTGG戦略では、2つのことを組み合わせて非常に特徴的だと考えることを行っています。第一は、(BG社が考える) 真の長期主義です。私たちは8年、9年、さらには10年にわたり株式を保有しています。この戦略の特徴を際立たせているのは、非常にシンプルでありながら強力なもの、すなわち楽観主義です。私たちは企業を「何か悪いことが起こるかもしれない」と見るのではなく、「何がうまくいくだろうか？どれだけ成長できるか？5年後、10年後には今の何倍の規模になっているだろうか？」等、アップサイドに焦点を当てています。そして、そのような特徴的な考え方が、非常に価値あるものになり得ると考えています。
- (第2に) LTGG戦略は、純粋に株式を対象とした、制約のないグローバル株式戦略で、卓越した成長が期待される企業への投資に重点を置いています。私たちは、現在の規模の何倍にも成長する可能性を秘めた企業に長期に亘って投資することで、投資家のみなさまにリターンをお届けできると信じています。

※過去の実績・状況であり、将来の運用成果を保証等するものではありません。



ベイリー・ギフォード社
LTGG戦略 プロダクト・スペシャリスト
Stewart Hogg氏

LTGG戦略が誕生した背景を教えてください。

- LTGG戦略は、お客さまにより良いリターンを提供したいというシンプルな目的からスタートしました。2000年代初頭、私たちは資産運用業界では一般的であるベンチマークを重視する、分散されたポートフォリオを運用していました。
- 創業メンバーのマーク・アーカートとジェームス・アンダーソンは、ベンチマークを考慮せず、最高の成長機会がある30~40銘柄に投資することを信条としました。そして、これらの優れた企業の株主として、辛抱強く支援し、そのリターンをお客さまに還元することを目指したのです。（市場における株式の）保有期間が短くなっていると考える現在、長期主義は当社の重要な差別化要因の一つです。そして、長期視点の投資家のみなさまのために長期のリターンをご提供することに役立っていると考えます。

※過去の実績・状況であり、将来の運用成果を保証等するものではありません。

【本資料に関してご留意いただきたい事項】の内容を必ずご覧ください。

ベイリー・ギフォード社 スペシャリストからのエピソード



ベイリー・ギフォード社
LTGG戦略 プロダクト・スペシャリスト
Stewart Hogg氏

投資アイデアをどのように生み出していますか、
またそれをどのように洗練させていますか。

- 私たちは、運用チームにセクターや産業を幅広く調査するよりも、自分の熱意に従うよう求めています。私たちは、過去の経験、および学術的な裏付けから、株式市場のリターンは少数の勝者によって決定されると信じており、運用チームはそのような少数の勝者を見つけることに大半の時間を割いています。投資部門に所属している100人以上の投資マネージャー及びアナリストは、地域、国籍、専攻など様々なバックグラウンドをもち、非常に多様性に富んだメンバーで構成されています。それぞれのメンバーが、投資アイデアを生み出しており、社内のリサーチプラットフォームで共有されています。
- LTGG戦略の運用チームは、他のチームから投資アイデアを得ることも、自分たちで生み出すこともできます。私たちの投資哲学の重要な部分は、リサーチに関しては会社全体で協力し、投資戦略における運用に関しては完全な自律性を保つことなのです。また、私たちは、「10のチェックリスト」というフレームワークを使って投資アイデアを洗練させています。これは長期的に成長する企業のアップサイドを特定するためのフレームワークになります。

※過去の実績・状況であり、将来の運用成果を保証等するものではありません。

【本資料に関してご留意いただきたい事項】の内容を必ずご覧ください。

Section4

投資家のみなさまからのQ&Aセッション



ベイリー・ギフォード社
クライアント・サービスチーム（日本顧客担当）
松原氏



ベイリー・ギフォード社
クライアント・サービスチーム（日本顧客担当）
岩澤氏



三菱UFJ国際投信 大島

投資家のみなさまからのQ&Aセッション

2021年末以降、ファンド（ロイヤル・マイル、ポジティブ・チェンジ）の基準価額が下落していますが、その背景および今後の運用方針等について教えてください。



ベイリー・ギフォード社
クライアント・サービスチーム（日本顧客担当）
岩澤氏

- ポストコロナ経済の不透明感とロシア・ウクライナ紛争の影響から、インフレ抑制に伴う金利上昇、景気後退懸念などから株式市場が足元の業績重視となり、将来大きな成長が期待されると考える保有銘柄中心に下落しました。特に、グロース株の調整が大きい中、ポジティブチェンジ戦略、LTGG戦略についても2021年末以降、軟調なパフォーマンスとなりました（2022年10月末時点）。ただし、保有銘柄のファンダメンタルズは随時精査しています。現時点においてファンダメンタルズは相対的に堅固であると考えており、このような時だからこそ、長期投資の方針を維持することが重要だと考えます。

- 岩澤さんがご説明してくださいました、各戦略のファンダメンタルズは次頁のスライドをご確認ください。フリーキャッシュフロー成長率、財務基盤の強さ、資本配分いずれにおいても相対的に高く、ファンダメンタルズは堅固であると考えます。



三菱UFJ国際投信 大島

※過去の実績・状況であり、将来の運用成果を保証等するものではありません。

【本資料に関してご留意いただきたい事項】の内容を必ずご覧ください。

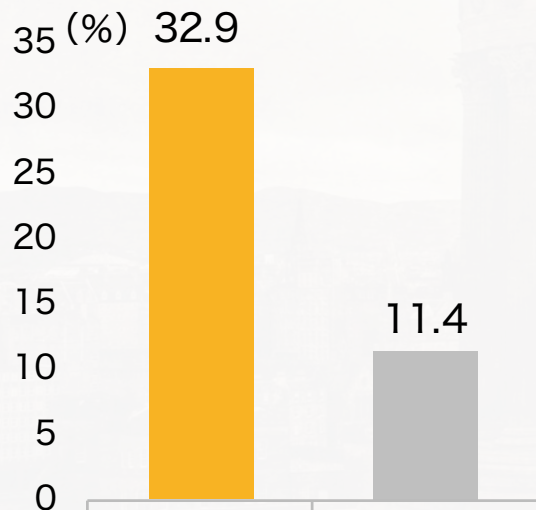
投資家のみなさまからのQ&Aセッション

下図は、LTGG戦略の代表ファンドのデータを用いています。代表ファンドは、当ファンドの投資対象ファンドと同様の運用プロセスを用いておりますが、当ファンドおよび当ファンドの投資対象ファンドの運用実績ではありません。また、当ファンドおよび当ファンドの投資対象ファンドの将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

相対的に堅固なファンダメンタルズ

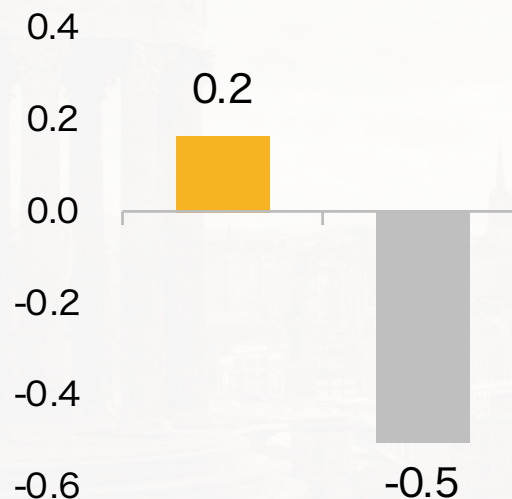
フリー・キャッシュフロー成長率：
企業価値の中長期的な成長に結びつけられるか？

= 5年間の成長率（年率）



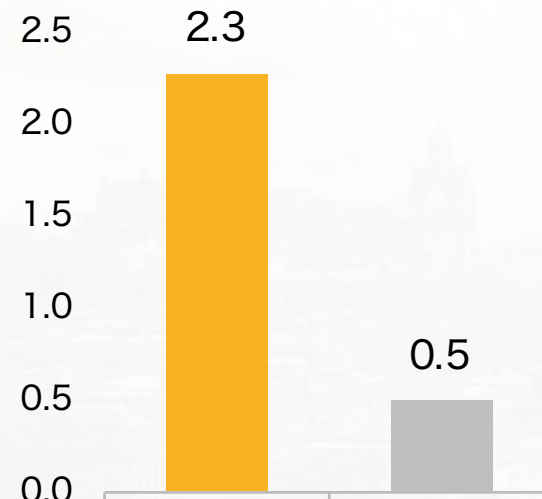
財務基盤の強さ：財務基盤は強固か？

$$= \frac{\text{負債}}{\text{資本}} \times (-1)$$



資本配分：将来の成長に投資しているか？

$$= \frac{\text{資本的支出}-\text{減価償却}+\text{研究開発}}{\text{自社株買い}+\text{配当}}$$



■ LTGG戦略の代表ファンド ■ (ご参考) 全世界株式

基準日：2022年9月末

・データは米ドルベース、除く金融セクターです。・フリー・キャッシュフロー成長率は5年前と比較したものを加重平均して算出。・全世界株式は、当ファンドのベンチマークではありませんが、市況推移の参考として掲載しています。指数については後記の「本資料で使用している指数について」をご覧ください。

出所：ペイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、為替・税金・手数料等を考慮していません。

投資家のみなさまからのQ&Aセッション

下図は、ポジティブ・チェンジ戦略の代表ファンドのデータを用いています。代表ファンドは、当ファンドの投資対象ファンドと同様の運用プロセスを用いておりますが、当ファンドおよび当ファンドの投資対象ファンドの運用実績ではありません。また、当ファンドおよび当ファンドの投資対象ファンドの将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

相対的に堅固なファンダメンタルズ

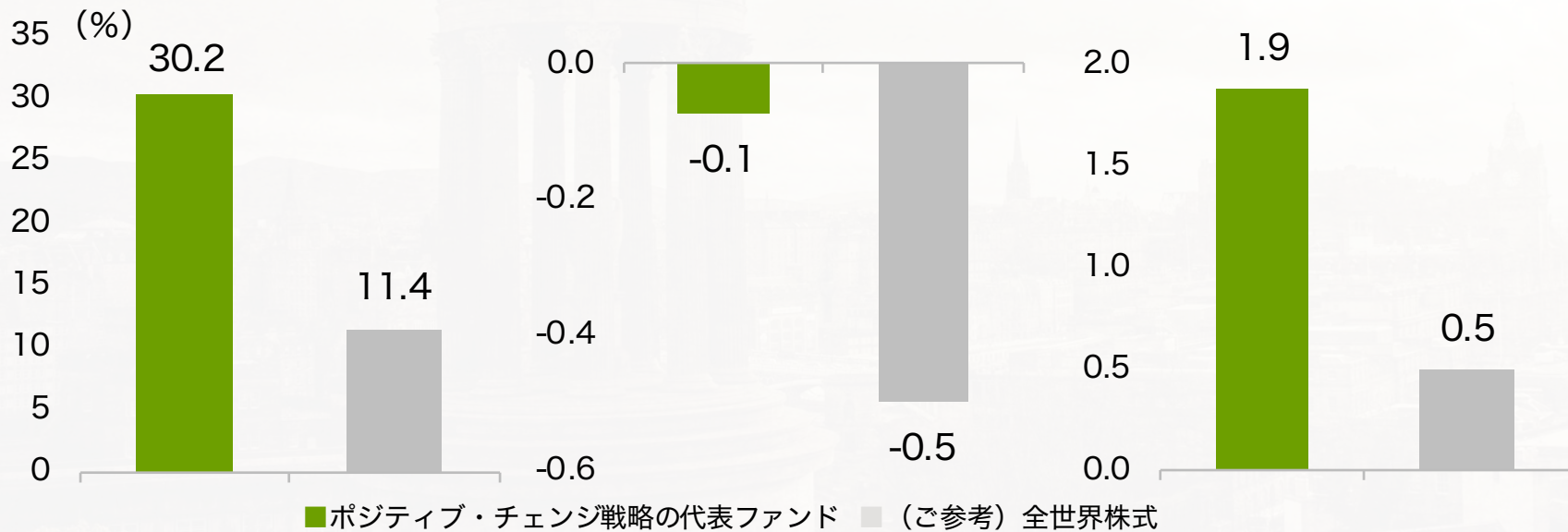
フリー・キャッシュフロー成長率：
企業価値の中長期的な成長に結びつけられるか？
＝ 5年間の成長率（年率）

財務基盤の強さ：財務基盤は強固か？

$$= \frac{\text{負債}}{\text{資本}} \times (-1)$$

資本配分：将来の成長に投資しているか？

$$= \frac{\text{資本的支出}-\text{減価償却}+\text{研究開発}}{\text{自社株買い}+\text{配当}}$$



基準日：2022年9月末

・データは米ドルベース、除く金融セクターです。・フリー・キャッシュフロー成長率は5年前と比較したものを加重平均して算出。・全世界株式は、当ファンドのベンチマークではありませんが、市況推移の参考として掲載しています。指数については後記の「本資料で使用している指数について」をご覧ください。

出所：ベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、為替・税金・手数料等を考慮していません。

投資家のみなさまからのQ&Aセッション

中国系企業の株式について、今後も保有を続けるのでしょうか。
続けるとしたらその理由を教えてください。



ベイリー・ギフォード社
クライアント・サービスチーム（日本顧客担当）
岩澤氏

- BG社の株式戦略は全てボトムアップアプローチに基づいています。ポジティブ・チェンジ、LTGG等のグローバル株式戦略にとって、成長が著しい中国の企業は今後も魅力的な投資対象になりうると考えます。但し、中国政府の政策と整合の取れている企業などが魅力的だと考えます。例えば、中国は様々な産業で国内産業を強化することに引き続き取り組んでおり、これはバッテリー製品製造会社であるCATL（寧徳時代新能源科技）やバイオ医薬品メーカーであるバイジーンのような企業にとって国内での大きなビジネスチャンス进行します。また、中国は2060年までにカーボンニュートラルを実現するという環境目標にも取り組んでおり、電気自動車（EV）メーカーであるニオやCATL（寧徳時代新能源科技）などには強力な政策的追い風となると考えています。また、持続可能性、農村開発等に関続き注力しており、小規模農家や商人を支援するピンデュオデュオのビジネスモデルも後押ししていると考えます。

※過去の実績・状況であり、将来の運用成果を保証等するものではありません。

【本資料に関してご留意いただきたい事項】の内容を必ずご覧ください。

投資家のみなさまからのQ&Aセッション

ファンド（ロイヤル・マイル、ポジティブ・チェンジ）の価格変動の激しさが気になります。長期資産形成とは言えプラスにもマイナスにも両極端な点についてどのように考えればよいのでしょうか？



ベイリー・ギフォード社
クライアント・サービスチーム（日本顧客担当）
岩澤氏

- LTGG及びポジティブ・チェンジ、両戦略とも長期投資に加えて、集中投資を目指しているため、株式市場全体が大きく動いているときはそれよりも上げ下げの振幅が大きくなりがちです。したがって、ポートフォリオの短期的なボラティリティの上昇は不可避だと考えます。5年以上の投資においては、株価は利益に沿って動いていたことが過去のデータは示しており、ボラティリティがいつ落ち着くかは分かりませんが、BG社では引き続き長期の視点で辛抱強く投資をすることが重要だと考えています。

- 岩澤さんにご説明いただきました、株価と利益の相関は次頁のスライドをご確認ください。ご覧のグラフは、BG社が、世界中の数千の株式を対象にそれぞれの株式の5年ごとのリターンと利益の成長率を比較したデータです。どのように分析したかという、それぞれの年ごとに対象となる株式の過去5年間の利益成長を高い順に5つのグループに分けて、それぞれのグループごとの5年リターンがどれくらい全体を上回っていたかを分析しています。利益成長率によって分類すると、あくまで過去のデータにおいては、成長率が最も高い銘柄群は5年単位で最も大きな株価のアウトパフォームを示し（グラフの一番右）、成長率が最も低い銘柄群は最も大きなアンダーパフォームを示しており（グラフの一番左）、株価リターンは利益成長率に関係していたことが分かります。ボラティリティがいつ落ち着くかは分かりませんが、短期の視点ではなく、長期で辛抱強く投資をすることが重要だと考えます。ただし、投資はあくまでも自己責任で行うものであり、当社およびBG社がアドバイスを行うものではありません。



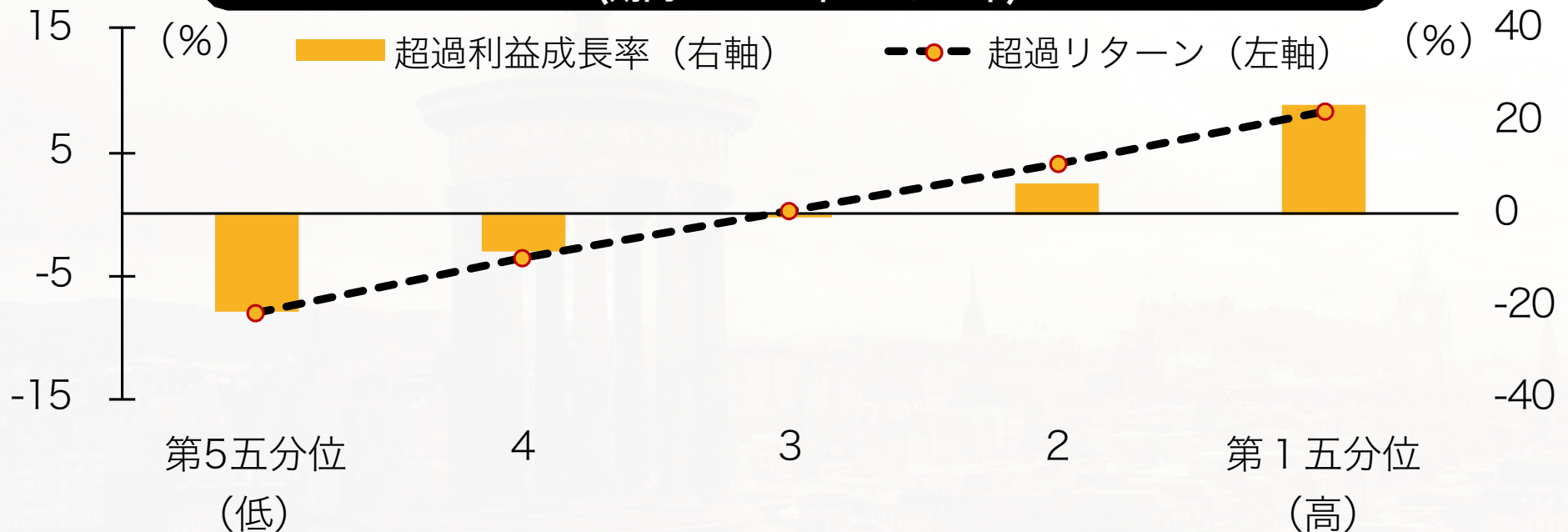
三菱UFJ国際投信 大島

※過去の実績・状況であり、将来の運用成果を保証等するものではありません。

【本資料に関してご留意いただきたい事項】の内容を必ずご覧ください。

投資家のみなさまからのQ&Aセッション

5年利益成長率で5分した銘柄群の利益成長率と株価リターンの関係 (期間：1992年 - 2021年)



出所：ペイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドのコメントおよびデータを基に三菱UFJ国際投信作成

・超過利益成長率、超過リターンはそれぞれ各グループの中央値と全対象銘柄の中央値からの超過分を年率換算して表示しています。対象は、FTSEオール・ワールド・インデックスとMSCI オールカンントリー・ワールド インデックスのいずれかの構成銘柄です。全世界株式：MSCI オールカンントリー・ワールド インデックスとは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の先進国・新興国で構成されています。同指数に 対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。FTSEオール・ワールド・インデックスとは、先進国・新興国における大型株・中型株の銘柄で構成される時価総額加重平均指数です。FTSE International Limited("FTSE")®FTSE。"FTSE®"はロンドン証券取引所グループ会社の登録商標であり、FTSE International Limitedは許可を得て使用しています。FTSE指数、FTSE格付け、またはその両方におけるすべての権利は、FTSE、そのライセンサー、またはその両方に付与されます。FTSEおよびライセンサーは、FTSE指数、FTSE格付け、もしくはその両方、または内在するデータにおける誤りや省略に対して責任を負わないものとします。FTSEの書面による同意がない限り、FTSEデータの再配布は禁止します。

・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

投資家のみなさまからのQ&Aセッション

ロイヤル・マイルで活用する運用戦略であるLTGG戦略において投資先企業をすべて公開する姿勢はとても好感が持てます。公開することで他社に真似されたり、邪魔されたりするような影響は無いのでしょうか？



ベイリー・ギフォード社
クライアント・サービスチーム（日本顧客担当）
岩澤氏

- 透明性は当戦略をご理解頂くために重要であると考えます。一方で、公開されている情報は、足元の保有状況と少し時差があります。参考にされる可能性もありますが、当社と同様に一貫性のある運用プロセスを徹底し、規律のある保有ポリシーを守りながら長期で保有できる投資家は少ないのではと考えます。

インデックスファンドが台頭する中で、アクティブファンドの魅力はどこにあると考えますか？



ベイリー・ギフォード社
クライアント・サービスチーム（日本顧客担当）
松原氏

- 1990年から2018年の期間、世界中で株式価値を増加させた企業数は全体の約39%にとどまります。また、世界中の企業が創出した株式価値の44.7兆米ドルは上位1.3%の企業によって創出された価値と同じでした。こうしたことから、長期で見ると株式投資における銘柄選定は極めて重要であり、インデックスファンドに比べ、そうした銘柄を発掘し集中投資することができる点がアクティブファンドの魅力でもあると考えます。

出所：Hendrik Bessembinder他著『Do Global Stocks Outperform US Treasury Bills?』（2019）

・株式価値とは、当該期間において、その銘柄に投資したことによる収益を表しています（当該期間中の配当再投資を含む株式リターンー米国の1ヵ月物の財務省証券のリターン）

※過去の実績・状況であり、将来の運用成果を保証等するものではありません。

【本資料に関してご留意いただきたい事項】の内容を必ずご覧ください。

投資家のみなさまからのQ&Aセッション

今までの20年とこれからの20年で一番の違いは何だと考えますか？
また、上記を踏まえ、どのような姿勢で投資に臨むべきでしょうか。



ベイリー・ギフォード社
クライアント・サービスチーム（日本顧客担当）
岩澤氏

- 過去20年はITの進化（PC、スマホの普及など）が大きく見られました。今後の20年はテクノロジーの進化が様々な業界で起きる（例：ガソリン車がすべて電気自動車に置き換わるなど）と考えます。何が成長しているかではなく、何が変化しているのかをボトムアップで見極め、四半期決算等の短期的な視点ではなく、長期の視点で、辛抱強く投資をすることが重要だと考えます。

Global growth investing doesn't require globalisation or growth

Transport					The automotive value chain is ripped and replaced
Healthcare					Respiratory disease, malaria and cancer are solved
Food					Food is reimagined from field to fork
Energy					Carbon pricing soars and emissions peak
Finance					The virtual economy overtakes the real economy

※上記は当日のスライドイメージです。

※過去の実績・状況であり、将来の運用成果を保証等するものではありません。

【本資料に関してご留意いただきたい事項】の内容を必ずご覧ください。

投資家のみなさまからのQ&Aセッション

ベイリー・ギフォード社の他の運用会社との一番の違いはどこにあると思いますか？



ベイリー・ギフォード社
クライアント・サービスチーム（日本顧客担当）
岩澤氏

- 外部株主に左右されない長期投資を実践できる経営体制だと考えます。 共同経営者であるパートナーが経営を行っており、外部株主からの圧力がないため、短期的なパフォーマンスにとらわれることなく「長期投資」という投資哲学を貫くことが可能となります。

銘柄の決定については、チーム毎にどのように決めていますか？



ベイリー・ギフォード社
クライアント・サービスチーム（日本顧客担当）
松原氏

- 各戦略にそれぞれ意思決定グループがいます。その中で、コンセンサスをえる場合もありますが、ひとりの熱い情熱をもとに銘柄を組み入れる場合もあり、基本的にはチームで話しあって決めています。

※過去の実績・状況であり、将来の運用成果を保証等するものではありません。

【本資料に関してご留意いただきたい事項】の内容を必ずご覧ください。

投資家のみなさまからのQ&Aセッション

投資哲学や投資理念は今後も変わりませんか？



ベイリー・ギフォード社
クライアント・サービスチーム（日本顧客担当）
岩澤氏

- 今後も変わることはないと考えます。根底にあるのは長期投資です。ベイリー・ギフォード社では、投資した会社を長期で支えていきたいという想いがあり、その信念は常に持つべきであると考えます。ただし、投資プロセスについては適宜見直し、改善するよう努めています。

今後、日本企業への投資の可能性をどのように見ていますか？



ベイリー・ギフォード社
クライアント・サービスチーム（日本顧客担当）
松原氏

- ボトムアップアプローチに基づき、有望な銘柄があれば投資を検討します。

※過去の実績・状況であり、将来の運用成果を保証等するものではありません。

【本資料に関してご留意いただきたい事項】の内容を必ずご覧ください。

ファンドの目的・特色

ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド〈愛称:ロイヤル・マイル〉

※販売会社によっては、一部のファンドのみの取扱いとなる場合があります。

【ファンドの目的】

日本を含む世界各国（新興国を含みます。以下同じ。）の株式等を実質的な主要投資対象とし、主として中長期的な値上がり益の獲得をめざします。

【ファンドの特色】

特色 1 長期の視点で成長が期待される世界各国の株式等に投資を行います。

・外国投資法人であるベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ロング・ターム・グローバル・グロース・ファンドの円建外国投資証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国の株式等（D R（預託証券）を含みます。以下同じ。）に投資を行います。また、マネー・マーケット・マザーファンドへの投資も行います。

特色 2 外国投資法人の運用は、ベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドが行います。

特色 3 原則として、為替ヘッジは行いません。

・原則として為替ヘッジを行いませんので、為替相場の変動による影響を受けます。

特色 4 年 1 回の決算時（1 月 25 日（休業日の場合は翌営業日））に分配金額を決定します。

・分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）

将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

ファンドの目的・特色

ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド〈愛称: ポジティブ・チェンジ〉

※販売会社によっては、一部のファンドのみの取扱いとなる場合があります。

【ファンドの目的】

日本を含む世界各国（新興国を含みます。以下同じ。）の株式等を実質的な主要投資対象とし、主として中長期的な値上がり益の獲得をめざします。

【ファンドの特色】

特色 1 好ましい社会的インパクトをもたらす事業によって、長期の視点から成長が期待される世界各国の企業の株式等に投資を行います。

・外国投資法人であるベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンドの円建外国投資証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国の株式等（D R（預託証券）を含みます。以下同じ。）に投資を行います。また、マネー・マーケット・マザーファンドへの投資も行います。

特色 2 好ましい社会的インパクトの促進と投資判断に資するため、投資先企業に対し継続的なエンゲージメント（企業との対話）を行うとともに達成された社会的インパクトを継続的に評価します。

特色 3 外国投資法人の運用は、ベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドが行います。

特色 4 原則として、為替ヘッジは行いません。

・原則として為替ヘッジを行いませんので、為替相場の変動による影響を受けます。

特色 5 年 1 回の決算時（6月25日（休業日の場合は翌営業日））に分配金額を決定します。

・分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）

将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

ファンドの目的・特色

ベイリー・ギフォード世界成長企業戦略／SMT. LN外国投資証券ファンド

〈愛称:クロスオーバー・グロース〉(ファンドは、特化型運用を行います。)

※販売会社によっては、一部のファンドのみの取扱いとなる場合があります。

ファンドの主要投資対象は市況動向等により流動性が大きく低下する恐れがあります。そのような状況下で換金申込みが集中すること等により、換金性に欠ける場合があります。

【ファンドの目的】

英国籍の外国投資法人であるスコティッシュ・モーゲージ・インベストメント・トラスト・ピーエルシーが発行する上場外国投資証券の値動きをとらえることをめざします。

【ファンドの特色】

特色1 原則として、英国籍の外国投資法人であるスコティッシュ・モーゲージ・インベストメント・トラスト・ピーエルシーが発行する上場外国投資証券のみに投資を行い、当該外国投資証券の値動きをとらえることをめざします。

特色2 外国投資証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国の上場株式および未上場株式（D R（預託証書）を含みます。以下、株式等ということがあります。）に投資を行い、長期的なトータルリターンの最大化をめざします。

特色3 原則として、為替ヘッジは行いません。

・原則として為替ヘッジを行いませんので、為替相場の変動による影響を受けます。

特色4 年1回の決算時（6月5日（休業日の場合は翌営業日））に分配金額を決定します。

・分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）

将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

ファンドのリスク・費用

- ・ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド〈愛称:ロイヤル・マイル〉
 - ・ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド〈愛称:ポジティブ・チェンジ〉
 - ・ベイリー・ギフォード世界成長企業戦略／SMT. LN外国投資証券ファンド〈愛称:クロスオーバー・グロース〉
- (ファンドは、特化型運用を行います。)

※販売会社によっては、一部のファンドのみの取扱いとなる場合があります。

【ファンドのリスクについて】

基準価額の変動要因：基準価額は、株式市場の相場変動による組入株式の価格変動や為替相場の変動等により上下します。また、組入有価証券等の発行者等の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の影響を受けます。これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。主な変動要因は、価格変動リスク、為替変動リスク、信用リスク、流動性リスク、カントリー・リスクです。※ベイリー・ギフォード世界成長企業戦略／SMT. LN外国投資証券ファンドについては外国投資法人における資金借入に係るリスク（株式買戻しにより当該リスクが増大するリスク含む）もあります。

上記は主なリスクであり、これらに限定されるものではありません。くわしくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

ベイリー・ギフォード世界成長企業戦略／SMT. LN外国投資証券ファンドは、外国投資法人への投資を通じて未上場株式にも投資を行います。未上場株式は一般に上場株式等と比べて流動性が著しく劣るため、流動性リスクが大きくなる可能性があります。また、一般に上場企業に比べて、未上場企業の事業リスクが大きいこと・未上場企業に係る情報の取得が困難であること・未上場株式の公正価値評価が困難であり、また評価の更新が頻繁ではないこと等を背景に、上場株式等への投資を行う場合に比べ、価格変動・信用の各リスクが大きくなる可能性があります。またファンドは、特化型運用を行います。ファンドの主要投資対象は市況動向等により流動性が大きく低下する恐れがあります。そのような状況下で換金申込みが集中すること等により、換金性に欠ける場合があります。集中した投資となる場合には、集中した投資対象の影響を大きく受けるため価格変動・為替変動・信用・流動性・カントリーリスクの各リスクが大きくなることとなります。

【ファンドの費用について】

●購入時〔購入時手数料〕購入価額に対して、上限3.30%（税抜3.00%）

●保有期間中〔運用管理費用（信託報酬）〕ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド…（実質的な信託報酬率）年率1.6445%程度（税抜年率1.5000%程度）、ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド…（実質的な信託報酬率）年率1.5180%程度（税抜年率1.3850%程度）、ベイリー・ギフォード世界成長企業戦略／SMT. LN外国投資証券ファンド…（実質的な信託報酬率）年率1.653%程度（税抜年率1.530%程度）〔その他の費用・手数料〕監査費用、有価証券等の売買委託手数料、投資対象投資信託証券・外国投資証券における諸費用（借入にかかる費用を含む）および税金等、保管費用、マザーファンドの換金に伴う信託財産留保額（クロスオーバー・グロースのみ）、信託事務にかかる諸費用等（その他の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません）

●換金時〔信託財産留保額〕ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド、ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド…ありません。ベイリー・ギフォード世界成長企業戦略／SMT. LN外国投資証券ファンド…換金申込受付日の翌営業日の基準価額に0.3%をかけた額。

※上記の費用（手数料等）については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。

販売会社一覧

投資信託説明書（交付目論見書）のご請求は下記の販売会社まで

(2022年12月2日時点)

ファンド名称：ペイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド（愛称：ロイヤル・マイル）

商号	登録番号等		日本証券 協会	一般社団法人 日本 投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会
相生市農業協同組合	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第108号				
アイザワ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第3283号	○	○		
あいち海部農業協同組合	登録金融機関	東海財務局長(登金)第198号				
愛知北農業協同組合	登録金融機関	東海財務局長(登金)第82号				
愛知県信用農業協同組合連合会	登録金融機関	東海財務局長(登金)第177号				
あいち知多農業協同組合	登録金融機関	東海財務局長(登金)第187号				
あいち中央農業協同組合	登録金融機関	東海財務局長(登金)第84号				
あいち豊田農業協同組合	登録金融機関	東海財務局長(登金)第144号				
愛知西農業協同組合	登録金融機関	東海財務局長(登金)第193号				
愛知東農業協同組合	登録金融機関	東海財務局長(登金)第85号				
あいち尾東農業協同組合	登録金融機関	東海財務局長(登金)第182号				
あいち三河農業協同組合	登録金融機関	東海財務局長(登金)第183号				
愛知みなみ農業協同組合	登録金融機関	東海財務局長(登金)第189号				
おおぞら農業協同組合	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第105号				
あかし農業協同組合	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第109号				
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第67号	○	○	○	
秋田しんせい農業協同組合	登録金融機関	東北財務局長(登金)第79号				
安芸農業協同組合	登録金融機関	中国財務局長(登金)第61号				
あさか野農業協同組合	登録金融機関	関東財務局長(登金)第558号				
足利市農業協同組合	登録金融機関	関東財務局長(登金)第383号				
厚木市農業協同組合	登録金融機関	関東財務局長(登金)第322号				
あづみ農業協同組合	登録金融機関	関東財務局長(登金)第483号				
ありだ農業協同組合	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第249号				
あわじ島農業協同組合	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第114号				
淡路日の出農業協同組合	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第216号				
株式会社イオン銀行(インターネット専用)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第633号	○			
伊賀ふるさと農業協同組合	登録金融機関	東海財務局長(登金)第91号				
池田泉州IT証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第370号	○			
石川かほく農業協同組合	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第43号				
石川県信用農業協同組合連合会	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第100号				
いしのまき農業協同組合	登録金融機関	東北財務局長(登金)第166号				
いずみの農業協同組合	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第272号				
伊勢農業協同組合	登録金融機関	東海財務局長(登金)第94号				
市川市農業協同組合	登録金融機関	関東財務局長(登金)第360号				
市原市農業協同組合	登録金融機関	関東財務局長(登金)第361号				
いちよし証券株式会社(IFA専用)	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第24号	○	○		
茨城県信用農業協同組合連合会	登録金融機関	関東財務局長(登金)第520号				
茨木市農業協同組合	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第122号				
茨城みなみ農業協同組合	登録金融機関	関東財務局長(登金)第581号				
いび川農業協同組合	登録金融機関	東海財務局長(登金)第101号				
伊万里市農業協同組合	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第46号				
いるま野農業協同組合	登録金融機関	関東財務局長(登金)第343号				
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第15号	○		○	
岩手江刺農業協同組合	登録金融機関	東北財務局長(登金)第169号				
岩手県信用農業協同組合連合会	登録金融機関	東北財務局長(登金)第140号				
岩手中央農業協同組合	登録金融機関	東北財務局長(登金)第147号				
宇都宮農業協同組合	登録金融機関	関東財務局長(登金)第384号				
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○	○	○	○
SMBCロイヤル証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○	○	○	○
越後おちや農業協同組合	登録金融機関	関東財務局長(登金)第594号				
えちご上越農業協同組合	登録金融機関	関東財務局長(登金)第568号				
越後ながおか農業協同組合	登録金融機関	関東財務局長(登金)第566号				
越前たけふ農業協同組合	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第50号				
FFC証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長(金商)第5号				○
遠州中央農業協同組合	登録金融機関	東海財務局長(登金)第102号				
遠州茅茨農業協同組合	登録金融機関	東海財務局長(登金)第104号				
島東館林農業協同組合	登録金融機関	関東財務局長(登金)第417号				
大井川農業協同組合	登録金融機関	東海財務局長(登金)第105号				
株式会社大分銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第1号	○			
大分県信用農業協同組合連合会	登録金融機関	九州財務局長(登金)第41号				
大坂市農業協同組合	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第129号				
大阪泉川農業協同組合	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第261号				
大阪中河内農業協同組合	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第262号				
大阪府信用農業協同組合連合会	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第237号				
大阪北部農業協同組合	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第251号				

商号	登録番号等		日本証券 協会	一般社団法人 日本 投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会
大阪南農業協同組合	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第133号				
大田市農業協同組合	登録金融機関	関東財務局長(登金)第553号				
岡三証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第53号	○	○	○	○
越智今治農業協同組合	登録金融機関	四国財務局長(登金)第40号				
尾張中央農業協同組合	登録金融機関	東海財務局長(登金)第192号				
加賀農業協同組合	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第55号				
香川県信用農業協同組合連合会	登録金融機関	四国財務局長(登金)第92号				
香川県農業協同組合	登録金融機関	四国財務局長(登金)第97号				
掛川市農業協同組合	登録金融機関	東海財務局長(登金)第113号				
加古川市南農業協同組合	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第141号				
鹿児島みらい農業協同組合	登録金融機関	九州財務局長(登金)第110号				
柏崎農業協同組合	登録金融機関	関東財務局長(登金)第550号				
神奈川県信用農業協同組合連合会	登録金融機関	関東財務局長(登金)第515号				
かながわ西湘農業協同組合	登録金融機関	関東財務局長(登金)第613号				
神奈川ついで農業協同組合	登録金融機関	関東財務局長(登金)第333号				
金沢市農業協同組合	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第57号				
金沢中央農業協同組合	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第58号				
蒲郡市農業協同組合	登録金融機関	東海財務局長(登金)第116号				
上伊那農業協同組合	登録金融機関	関東財務局長(登金)第484号				
鹿本農業協同組合	登録金融機関	九州財務局長(登金)第52号				
鹿津農業協同組合	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第111号				
紀州農業協同組合	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第273号				
大曾農業協同組合	登録金融機関	関東財務局長(登金)第486号				
北九沼農業協同組合	登録金融機関	関東財務局長(登金)第537号				
北越後農業協同組合	登録金融機関	関東財務局長(登金)第437号				
北大阪農業協同組合	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第156号				
北河内農業協同組合	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第263号				
北つばき農業協同組合	登録金融機関	関東財務局長(登金)第397号				
北びわこ農業協同組合	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第158号				
紀南農業協同組合	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第265号				
紀の里農業協同組合	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第160号				
岐阜県信用農業協同組合連合会	登録金融機関	東海財務局長(登金)第178号				
きふ農業協同組合	登録金融機関	東海財務局長(登金)第118号				
紀北川上農業協同組合	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第255号				
君津市農業協同組合	登録金融機関	関東財務局長(登金)第364号				
京都府信用農業協同組合連合会	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第238号				
くまがや農業協同組合	登録金融機関	関東財務局長(登金)第346号				
琉球地域農業協同組合	登録金融機関	九州財務局長(登金)第54号				
株式会社熊本銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第6号	○			
グリーン近江農業協同組合	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第170号				
グリーン大坂農業協同組合	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第171号				
グリーン長野農業協同組合	登録金融機関	関東財務局長(登金)第487号				
黒部市農業協同組合	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第61号				
奥日光川農業協同組合	登録金融機関	関東財務局長(登金)第327号				
甲賀農業協同組合	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第172号				
越谷市農業協同組合	登録金融機関	関東財務局長(登金)第347号				
株式会社CONNECT	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第3186号	○			
小松市農業協同組合	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第64号				
さいか工業協同組合	登録金融機関	関東財務局長(登金)第576号				
佐伯中央農業協同組合	登録金融機関	中国財務局長(登金)第91号				
埼玉県信用農業協同組合連合会	登録金融機関	関東財務局長(登金)第516号				
埼玉中央農業協同組合	登録金融機関	関東財務局長(登金)第348号				
さいたま農業協同組合	登録金融機関	関東財務局長(登金)第555号				
埼玉ひびきの農業協同組合	登録金融機関	関東財務局長(登金)第591号				
埼玉みずほ農業協同組合	登録金融機関	関東財務局長(登金)第349号				
堺市農業協同組合	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第178号				
さがえ村山農業協同組合	登録金融機関	東北財務局長(登金)第156号				
佐賀県信用農業協同組合連合会	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第95号				
佐賀県農業協同組合	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第113号				
佐賀市中央農業協同組合	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第66号				
さがみ農業協同組合	登録金融機関	関東財務局長(登金)第328号				
相模原市農業協同組合	登録金融機関	関東財務局長(登金)第329号				
佐久浅間農業協同組合	登録金融機関	関東財務局長(登金)第554号				
さつまひら直農業協同組合	登録金融機関	九州財務局長(登金)第24号				
佐渡農業協同組合	登録金融機関	関東財務局長(登金)第441号				
佐渡伊勢崎農業協同組合	登録金融機関	関東財務局長(登金)第415号				

【本資料に関してご留意いただきたい事項】の内容を必ずご覧ください。

販売会社一覧

投資信託説明書（交付目論見書）のご請求は下記の販売会社まで

(2022年12月2日時点)

ファンド名称：バイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド〈愛称：ロイヤル・マイル〉

商号	登録番号等		日本証券業協会	一般社団法人 日本 投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会
山武都市農業協同組合	登録金融機関	関東財務局長(登金)第365号				
塩野谷農業協同組合	登録金融機関	関東財務局長(登金)第387号				
道東信用農業協同組合連合会	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第239号				
四国アライアンス証券株式会社	金融商品取引業者	四国財務局長(金商)第21号	○			
静岡信用農業協同組合連合会	登録金融機関	東海財務局長(登金)第179号				
静岡市農業協同組合	登録金融機関	東海財務局長(登金)第129号				
静銀フィニーム証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第10号	○			
島根県農業協同組合	登録金融機関	中国財務局長(登金)第170号				
清水農業協同組合	登録金融機関	東海財務局長(登金)第130号				
下野農業協同組合	登録金融機関	関東財務局長(登金)第545号				
株式会社十八親和銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第3号	○			
庄内たがわ農業協同組合	登録金融機関	東北財務局長(登金)第153号				
庄内みどり農業協同組合	登録金融機関	東北財務局長(登金)第106号				
湘南農業協同組合	登録金融機関	関東財務局長(登金)第330号				
信州うたえ農業協同組合	登録金融機関	関東財務局長(登金)第496号				
信州諏訪新生銀行組合	登録金融機関	関東財務局長(登金)第598号				
株式会社新生銀行(委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○		○	
株式会社新生銀行(委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○		○	
新みやぎ農業協同組合	登録金融機関	東北財務局長(登金)第129号				
鈴鹿農業協同組合	登録金融機関	東海財務局長(登金)第195号				
洗馬農業協同組合	登録金融機関	関東財務局長(登金)第500号				
セシヤ川崎美芝協同組合	登録金融機関	関東財務局長(登金)第331号				
仙台農業協同組合	登録金融機関	東北財務局長(登金)第111号				
そお鹿沼島農業協同組合	登録金融機関	九州財務局長(登金)第85号				
胎内市農業協同組合	登録金融機関	関東財務局長(登金)第459号				
大北農業協同組合	登録金融機関	関東財務局長(登金)第501号				
高崎市農業協同組合	登録金融機関	関東財務局長(登金)第416号				
多気郡農業協同組合	登録金融機関	東海財務局長(登金)第133号				
たじま農業協同組合	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第197号				
丹波ささやま農業協同組合	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第264号				
丹波ひかみ農業協同組合	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第200号				
CHEER証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第3299号	○			
ちちぶ農業協同組合	登録金融機関	関東財務局長(登金)第351号				
株式会社千選銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第39号	○		○	
千葉みらい農業協同組合	登録金融機関	関東財務局長(登金)第619号				
中銀証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第6号	○			
株式会社中国銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第2号	○		○	
津安芸農業協同組合	登録金融機関	東海財務局長(登金)第138号				
岡崎市農業協同組合	登録金融機関	東北財務局長(登金)第154号				
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第140号	○		○	
とうかつ中央農業協同組合	登録金融機関	関東財務局長(登金)第373号				
東京中央農業協同組合	登録金融機関	関東財務局長(登金)第310号				
東京都信用農業協同組合連合会	登録金融機関	関東財務局長(登金)第514号				
東京南農業協同組合	登録金融機関	関東財務局長(登金)第312号				
胸都信用農業協同組合	登録金融機関	東海財務局長(登金)第140号				
株式会社東邦銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第7号	○			
とうほう証券株式会社	金融商品取引業者	東北財務局長(金商)第36号	○		○	
東洋証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第121号	○			
十日町農業協同組合	登録金融機関	関東財務局長(登金)第454号				
徳島県信用農業協同組合連合会	登録金融機関	四国財務局長(登金)第94号				
徳島市農業協同組合	登録金融機関	四国財務局長(登金)第72号				
株式会社栃木銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第57号	○			
鳥取いづは農業協同組合	登録金融機関	中国財務局長(登金)第107号				
鳥取西部農業協同組合	登録金融機関	中国財務局長(登金)第108号				
鳥取中央農業協同組合	登録金融機関	中国財務局長(登金)第109号				
とびあ浜松農業協同組合	登録金融機関	東海財務局長(登金)第142号				
豊橋農業協同組合	登録金融機関	東海財務局長(登金)第145号				
長崎県中央農業協同組合	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第121号				
長崎西彼農業協同組合	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第120号				
長野県信用農業協同組合連合会	登録金融機関	関東財務局長(登金)第523号				
中野市農業協同組合	登録金融機関	関東財務局長(登金)第505号				
ながの農業協同組合	登録金融機関	関東財務局長(登金)第506号				
長野ハッ岳農業協同組合	登録金融機関	関東財務局長(登金)第570号				
ながみね農業協同組合	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第250号				

商号	登録番号等		日本証券業協会	一般社団法人 日本 投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会
なごや農業協同組合	登録金融機関	東海財務局長(登金)第147号				
那須野農業協同組合	登録金融機関	関東財務局長(登金)第388号				
那須南農業協同組合	登録金融機関	関東財務局長(登金)第535号				
奈良県農業協同組合	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第247号				
南野農業協同組合	登録金融機関	関東財務局長(登金)第356号				
にいがた当船農業協同組合	登録金融機関	関東財務局長(登金)第567号				
新潟かがやき農業協同組合	登録金融機関	関東財務局長(登金)第667号				
新潟市農業協同組合	登録金融機関	関東財務局長(登金)第592号				
にいがた南蒲農業協同組合	登録金融機関	関東財務局長(登金)第565号				
西春日井農業協同組合	登録金融機関	東海財務局長(登金)第151号				
西三河農業協同組合	登録金融機関	東海財務局長(登金)第186号				
西美濃農業協同組合	登録金融機関	東海財務局長(登金)第184号				
能美農業協同組合	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第80号				
能登わがば農業協同組合	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第79号				
野々市農業協同組合	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第111号				
ハイナン農業協同組合	登録金融機関	東海財務局長(登金)第154号				
はが野農業協同組合	登録金融機関	関東財務局長(登金)第391号				
はくい農業協同組合	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第107号				
白山農業協同組合	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第114号				
泰野市農業協同組合	登録金融機関	関東財務局長(登金)第334号				
浜組TT証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第1977号	○			
ハリマ農業協同組合	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第211号				
曙の国岡山農業協同組合	登録金融機関	中国財務局長(登金)第121号				
PWM日本証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第50号	○			○
東むくこ農業協同組合	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第215号				
東美濃農業協同組合	登録金融機関	東海財務局長(登金)第157号				
ひすい農業協同組合	登録金融機関	関東財務局長(登金)第471号				
飛騨農業協同組合	登録金融機関	東海財務局長(登金)第158号				
ひまわり農業協同組合	登録金融機関	東海財務局長(登金)第159号				
株式会社百十四銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第5号	○			○
兵庫県信用農業協同組合連合会	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第241号				
兵庫県農業協同組合	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第256号				
兵庫南農業協同組合	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第246号				
兵庫みらい農業協同組合	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第260号				
兵庫六甲農業協同組合	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第252号				
広島市農業協同組合	登録金融機関	中国財務局長(登金)第123号				
広島中央農業協同組合	登録金融機関	中国財務局長(登金)第124号				
広島北部農業協同組合	登録金融機関	中国財務局長(登金)第167号				
ふくや農業協同組合	登録金融機関	関東財務局長(登金)第575号				
福井県信用農業協同組合連合会	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第102号				
福井県農業協同組合	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第86号				
株式会社福岡銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第7号	○			○
福岡県信用農業協同組合連合会	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第97号				
福岡八女農業協同組合	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第100号				
福岡さら農業協同組合	登録金融機関	東北財務局長(登金)第85号				
福山市農業協同組合	登録金融機関	中国財務局長(登金)第128号				
ふくしま未来農業協同組合	登録金融機関	東北財務局長(登金)第109号				
富士伊豆農業協同組合	登録金融機関	東海財務局長(登金)第148号				
PayPay銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第624号	○			○
はくさい農業協同組合	登録金融機関	関東財務局長(登金)第559号				
はくTT証券株式会社	金融商品取引業者	北陸財務局長(金商)第24号	○			
北海道信用農業協同組合連合会	登録金融機関	北海道財務局長(登金)第67号				
マインズ農業協同組合	登録金融機関	関東財務局長(登金)第319号				
前橋市農業協同組合	登録金融機関	関東財務局長(登金)第426号				
町田市農業協同組合	登録金融機関	関東財務局長(登金)第320号				
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第164号	○			○
松任市農業協同組合	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第93号				
松本ハイランド農業協同組合	登録金融機関	関東財務局長(登金)第509号				
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○			○
三重北農業協同組合	登録金融機関	東海財務局長(登金)第168号				
三重県信用農業協同組合連合会	登録金融機関	東海財務局長(登金)第180号				
みえなが農業協同組合	登録金融機関	東海財務局長(登金)第166号				
みくまの農業協同組合	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第257号				
株式会社三井住友銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第54号	○			○
三ノ日町農業協同組合	登録金融機関	東海財務局長(登金)第170号				
水戸証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第181号	○	○		

【本資料に関してご留意いただきたい事項】の内容を必ずご覧ください。

販売会社一覧

投資信託説明書（交付目論見書）のご請求は下記の販売会社まで

(2022年12月2日時点)

ファンド名称：ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド〈愛称：ロイヤル・マイル〉

商号	登録番号等	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
みなみ魚沼農業協同組合	登録金融機関	関東財務局長(登金)第663号			
みなみ信州農業協同組合	登録金融機関	関東財務局長(登金)第512号			
みのり農業協同組合	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第253号			
みやぎ仙南農業協同組合	登録金融機関	東北財務局長(登金)第131号			
みやぎ登米農業協同組合	登録金融機関	東北財務局長(登金)第132号			
みやぎ亘理農業協同組合	登録金融機関	東北財務局長(登金)第133号			
宮崎中央農業協同組合	登録金融機関	九州財務局長(登金)第95号			
三友農業協同組合	登録金融機関	中国財務局長(登金)第139号			
めぐみの農業協同組合	登録金融機関	東海財務局長(登金)第194号			
もがみ中央農業協同組合	登録金融機関	東北財務局長(登金)第190号			
株式会社山形銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第12号	○		
山形おきたま農業協同組合	登録金融機関	東北財務局長(登金)第152号			
山形農業協同組合	登録金融機関	東北財務局長(登金)第151号			
山口県信用農業協同組合連合会	登録金融機関	中国財務局長(登金)第154号			
山口県農業協同組合	登録金融機関	中国財務局長(登金)第171号			
夢みなみ農業協同組合	登録金融機関	東北財務局長(登金)第110号			
よこすか栗山農業協同組合	登録金融機関	関東財務局長(登金)第338号			
横浜農業協同組合	登録金融機関	関東財務局長(登金)第595号			
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○
レック滋賀農業協同組合	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第235号			
和歌山県信用農業協同組合連合会	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第242号			
わかやま農業協同組合	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第236号			

商号	登録番号等	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	一般社団法人投資信託協会
三菱UFJ国際投信株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第404号		○		○

ファンド名称：ベイリー・ギフォードインパクト投資ファンド〈愛称：ポジティブ・チェンジ〉

商号	登録番号等	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
アイザワ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第3283号	○	○	
株式会社秋田銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第2号	○		
株式会社足利銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第43号	○		○
株式会社イオン銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第633号	○		
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(登金)第15号	○	○	
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○
株式会社愛媛銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第6号	○		
岡三証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第53号	○	○	○
株式会社沖縄銀行	登録金融機関	沖縄総合事務局長(登金)第1号	○		
株式会社北九州銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第117号	○		
くんぎん証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2938号	○		
株式会社群馬銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第46号	○		○
株式会社滋賀銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第11号	○		
七十七証券株式会社	金融商品取引業者	東北財務局長(金商)第37号	○		
株式会社新生銀行(委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○		○
株式会社新生銀行(委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○		○
株式会社仙台銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第16号	○		
株式会社第四北越銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第47号	○		○
株式会社中京銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第17号	○		
東洋証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第121号	○		○
株式会社島取銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第3号	○		
株式会社富山銀行	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第1号	○		
西日本シティ銀行証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長(金商)第75号	○		
野村証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○
株式会社八十二銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第49号	○		○
八十二証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第21号	○	○	
PWM日本証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第50号	○		○
株式会社百五銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第10号	○		○
百五証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第134号	○		
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第152号	○	○	
PayPay銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第624号	○		○
株式会社北陸銀行	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第3号	○		○
株式会社北海道銀行	登録金融機関	北海道財務局長(登金)第1号	○		
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第164号	○		○
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○
三田証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第175号	○		
株式会社三菱UFJ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○
株式会社三菱UFJ銀行(委託金融商品取引業者 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○
三菱UFJ信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第33号	○	○	○
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○
むいさ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第105号	○		○
株式会社ともじ銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第12号	○		○
株式会社山口銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第6号	○		○
株式会社横浜銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第38号	○		○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○
ワイコム証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(登金)第8号	○		

ファンド名称：ベイリー・ギフォード世界成長企業戦略／SMT、L N外国投資証券ファンド
〈愛称：クロスオーバー・グロース〉

商号	登録番号等	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○

【本資料に関してご留意いただきたい事項】

■本資料は、フォーラムの様子をご理解いただくことを目的に三菱UFJ国際投信が作成した情報提供資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。■本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。■投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

■設定・運用は



三菱UFJ国際投信

三菱UFJ国際投信株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

お客さま専用
フリーダイヤル 0120-151034
(受付時間/営業日の9:00～17:00)

●ホームページアドレス：<https://www.am.mufig.jp/>

各ファンドはベイリー・ギフォード社の運用戦略を活用しています



Actual Investors

Baillie Gifford are long-term investors, not speculators

揺るぎない信念、長期投資